

JSTの事業で ウクライナの高校生等が来日

科学技術振興機構（JST）が実施する「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム（SSHIP）」により来日したウクライナの高校生等9名が12月2日、文部科学省において阿部俊子文科大臣を表敬訪問した。表敬は冒頭のみ公開され、阿部文科大臣は



阿部文科大臣(前列中央)とウクライナの高校生ら

「大臣室に来て下さったことを心から感謝申し上げます。我が国はウクライナとともにあり、文部科学省として支援策をしつかりと進めてまいりたいと考えている。大変な中であるが、将来を見据えた形で日本の科学技術に関心を持って頂き感謝申し上げます。我が国の科学技術に触れて頂き、有意義な滞在になることを心から願っている」と挨拶した。



次に、ウクライナの高校生を代表してフリシチュク・ドミトロさんが「ウクライナの生徒を代表してここに来られたことを大変うれしく思う。プログラムに参加できたのは、私一人で達成できたものではなく、日本とウクライナの友好の証と考えている。ウクライナでは、日本は文化、テクノロジー等において非常に長きにわたって尊敬される存在だ。この度の訪問で、日本のことをより深く学ぶことを楽しみにしており、私の夢が1つ叶ったような気持ちだ。さくらサイエンスプログラムで、日本の科学技術、イノベーション、文化を研究できるようにしている。今回は、阿部大臣にお招き頂き感謝申し上げます」と述べた。